

はにわ通信

No.270 平成 29 (2017) 年 9 月号



【瓦葺き・掘立柱建物の古代寺院「ヒタキ廃寺」】



ヒタキ廃寺出土 鬼瓦 三重県埋蔵文化財センター提供

左の写真を見てください。何者なのかよくわからない者が、眉間にシワを寄せ、目を大きく見開いています。まるで何かを睨み付けているように見えます。額にうき出たシワも印象的です。みなさん、これは一体何だと思いませんか？

——答えは、古代寺院の鬼瓦です。6世紀半ばに仏教が伝来すると、まず、蘇我氏などの中央の豪族や大王家が、当時都の置かれた飛鳥や難波（今の奈良県・大阪府）に、次々と寺院を建立しました。そして、地方の豪族にも仏教が広まると、各地で寺院が建立されるようになりました。松阪市内でも、伊勢寺廃寺（伊勢寺町）や天花寺廃寺（嬉野天花寺町）など、10ヶ寺ほどの古代寺院が建立されたことが分かっています。

今回紹介するのは、このような古代寺院のひとつヒタキ廃寺（阿形町）です。ヒタキ廃寺は、地元の人の伝承にもなく、平成3年度の県営圃場整備事業にともなう分布調査によって確認された新発見の遺跡です。

ヒタキ廃寺は、奈良時代後期に創建されたと推定されています。ヒタキ廃寺から100mほど南にある打田遺跡で、同時期の真北方向に立つ掘立柱建物跡が複数見つかると、ヒタキ廃寺の柱穴の跡も同じ方向を向いていたことから、これらの建物とともに計画的に建築されたのではないかと考えられています。

また、発掘調査の結果から、ヒタキ廃寺は瓦葺きの掘立柱建物⁽¹⁾であったことが分かりました。一般に、寺院は瓦葺きで礎石建物⁽²⁾の場合が多いので、異色な建て方をした寺院だったといえます。見つかった瓦の種類が少なく、多量の瓦が重なり合った状態で出土したことから、創建後きわめて短期間に倒壊し、その後再建されなかったと考えられています。では、一体どのような人物・集団がヒタキ廃寺を創建したのでしょうか？

残念ながら、発掘調査からはヒタキ廃寺の創建に関わった人物・集団が明確に分かるような資料は見つかりませんでした。しかし、ヒタキ廃寺のある阿形町は、倭名類聚抄⁽³⁾に見られる「英太」郷と考えられ、さらにそれ以前には、「英太」は「県」⁽⁴⁾であった可能性が考えられます。続日本紀⁽⁵⁾には、この地域の古代豪族の飯高氏が「県造」であったことが記されており、ヒタキ廃寺や打田遺跡との関連を想起させます。（担当）

- (1) 地面に穴を掘り、柱の下部を埋め込んで柱（掘立柱）を立てる建物。現在まで残る代表的な例として、伊勢神宮の社殿があります。
- (2) 地面に石（礎石）をすえ、その上に柱を立てる建物。古代寺院建築とともに、渡来人によって伝えられました。
- (3) 平安時代の辞書。古代の多数の郡・郷の名前が載っているため資料的価値が高いものです。
- (4) 大化の改新以前に、全国各地に存在したと考えられるヤマト政権の支配した地域の単位。
- (5) 古代の歴史書。日本書紀が扱う時代の次の時代（主に奈良時代）を扱っています。

※今回の「はにわ通信」を書く際、『日本の古代遺跡 52 三重』（森浩一企画・伊藤久嗣編、保育社、1996年）と『三重県埋蔵文化財調査報告 99-2 ヒタキ廃寺・打田遺跡・阿形遺跡ほか』（三重県埋蔵文化財センター、1992年）を参考にしました。

【埴輪と土偶…】

埴輪と土偶はともに粘土で形を作り、焼きあげたもの。埴輪は古墳時代に現れたが、土偶はそれより1万年以上さかのぼること、縄文草創期から作られた。

各地で出土しているが、際立っているのは東北地方だろう。かの地で出土したいくつかの遮光器土偶が一般的な土偶のイメージとなっている。やたらでかい眼窩、収まる目は線のように細い。

また、全国を見てみると多様な土偶が見つかる。そのなかで、粥見井尻遺跡から出土した土偶は最古級のもので、シンプルであるが豊穡や再生を希求する思いをかたちにしたようだ。

今秋、はにわ館では「土偶と生活（くらし）展」を開催し、土偶の本場ともいわれる青森県から土偶がやってくる。県や市の所蔵の土偶とあわせて展示をし、その違いや共通点を考察していきたい。

最古の土偶、大きくて豪華な装飾を持つ船形埴輪、この地は大昔から人々の豊かな営みがあった。わたしたちはそんなところにすんでいる。そう思うとなにかしら誇らしくはないだろうか。

9月のはにわ館では、常設展示「宝塚古墳の謎」と夏季企画展「まつさかの埴輪たち」（9月10日まで）を開催しています。市民ギャラリーでは児童生徒科学作品展、市民の皆さんの写真展、23日からは市展（第1部）が始まります。ぜひ、当センターへお越しください。（所長）



土偶のイメージ図

文化財センター はにわ館 & ギャラリー 9月の催し物予定

9月の休館日は4日（月）、11日（月）、19日（火）です。
開館時間は9:00～17:00です。

【はにわ館】 入館料100円（18歳以下無料） * 入館は16:30まで

第1展示室 ■ 常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ■ 夏季企画展「まつさかの埴輪たち」 7/29（土）～9/10（日）

【ギャラリー】 入場無料 * 最終日は16:00まで

第3G ■ 森川久写真展「木偶」3 9/2（土）～9/3（日）9:00～17:00 ※最終日は16時まで

第1・2・3G ■ 平成29年度 松阪市児童生徒科学作品展 9/9（土）～9/10（日）9:00～16:00

第1・2・3G ■ 第58回 松阪市美術展覧会（第1部）9/23（土・祝）～10/1（日）9:00～17:00
※9/23（土・祝）は灯りコンサートのため19時まで、最終日は15時まで

【9月のイベント】

スタンプラリー 9/9（土）～9/10（日）9:00～16:00 ※すべてのスタンプを集めるとシールがもらえます

灯りコンサート 【とき】 9/23（土・祝）17:30～18:30 ※開場は17時、**入場無料**
【ところ】文化財センター「はにわ館」ロビー ※座席は90席程度、立ち見での入場も可能です
【出演者】岡 美保子さん（松阪市ブランド大使）